

問1 現在、阪神工業地帯において大阪府から兵庫県にかけて集積している、石油精製やプラスチック製品などを作る工業を何という？

1. 繊維工業 2. 機械工業 3. 化学工業 4. 鉄鋼業

問2 漁獲量を安定させるため、海産資源を管理しながら積極的に増やす仕組みを何という？

1. 遠洋漁業 2. 沿岸漁業 3. 資源管理型漁業 4. 沖合漁業

問3 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？

1. 中央高地 2. 日本海側 3. 九州北部 4. 太平洋側

問4 福岡県に建設され、石炭資源を利用して日本の重化学工業の発展の起点となった製鉄所を何という？

1. 八幡製鉄所 2. 川崎製鉄所 3. 釜石製鉄所 4. 富士製鉄所

問5 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？

1. 輸出拡大 2. 輸入制限 3. 委託生産 4. 現地生産

問6 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？

1. 工場 2. 農協 3. 倉庫 4. 市場

問7 高原などの冷涼な気候を利用して、平地の出荷が終わった時期に野菜を出荷する栽培方法を何という？

1. 近郊農業 2. 施設園芸農業 3. 促成栽培 4. 抑制栽培

問8 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？

1. 風力発電 2. 地熱発電 3. 太陽光発電 4. バイオマス発電

問9 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？

1. 愛知県 2. 兵庫県 3. 福岡県 4. 神奈川県

問10 長野県に位置し、夏に涼しい気候を生かしたレタスなどの生産が盛んな高原地帯はどこ？

1. 濃尾平野 2. 宮崎平野 3. 野辺山高原 4. 高知平野

問11 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？

1. プレトンウッズ協定 2. スミソニアン協定 3. プラザ合意 4. ルーブル合意

問12 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？

1. 風力発電 2. 地熱発電 3. 水力発電 4. 太陽光発電

問13 かつて大阪湾周辺で、繊維製品などの製造を中心に発展した工業を何という？

1. 造船業 2. 製鉄業 3. 鉄鋼業 4. 綿工業

問14 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？

1. 化石燃料 2. 再生可能エネルギー 3. 原子力発電 4. 火力発電

問15 稚魚や稚貝を人の手で育ててから海に放流し、成長してから捕獲する手法を何という？

1. 栽培漁業 2. 養殖業 3. 沖合漁業 4. 遠洋漁業

答え合わせ・解説

問1	答え 3 化学工業	化学工業は、石油や天然ガスなどを原料として、プラスチックや薬品、合成繊維などを生産します。阪神工業地帯では、中小企業が持つ高度な技術力が大手メーカーと連携し、付加価値の高い製品を生み出しています。
問2	答え 3 資源管理型漁業	資源管理型漁業は、漁獲量に制限を設けたり、稚魚を放流したりして、資源を枯渇させないように管理する手法です。特に栽培漁業と密接に関連しており、自然の海を上手に活用する技術が重要視されています。
問3	答え 4 太平洋側	太平洋ベルトと呼ばれるこの地域には、京浜や阪神などの主要な工業地帯が並んでいます。気候が温暖で人口も多く、巨大な消費地と生産地が近接しているため、工業の発展には非常に有利な条件が揃っていました。
問4	答え 1 八幡製鉄所	八幡製鉄所は、1901年に操業を開始した官営製鉄所です。ここでの成功により、日本は鉄鋼製品を自給できるようになり、重化学工業の土台が築かれました。
問5	答え 4 現地生産	「現地生産」は、製品を売る国の中で工場を運営する方式です。これにより、相手国の雇用を増やし、物流コストを抑えることができます。特に自動車産業では、日本メーカーがアメリカや欧州に大規模な工場を次々と建設しました。
問6	答え 4 市場	市場は、生産者が育てた野菜や果物を全国から集め、仲卸業者を通じてスーパーマーケットや小売店へ流通させる拠点です。適切な価格形成を行い、安定した供給を保证する役割を担っています。
問7	答え 4 抑制栽培	抑制栽培は、夏でも涼しい高原地域などの環境を利用して、本来の旬より遅い時期に出荷を行う技術です。これにより、平地の産地が品薄になる夏場に新鮮な野菜を市場に供給することができます。
問8	答え 2 地熱発電	「地熱発電」は、地下から取り出した蒸気でタービンを回転させて電気を作ります。天候や昼夜に左右されず、安定した発電が可能なベースロード電源として注目されています。東北や九州地方を中心に、国立公園内などの地熱資源が豊富な場所で主に導入されています。
問9	答え 4 神奈川県	神奈川県の沿岸部には、京浜工業地帯の主力工場や物流倉庫、研究所が数多く存在します。特に横浜港は、古くから国際貿易港として日本と世界を結ぶ役割を果たしてきました。
問10	答え 3 野辺山高原	野辺山高原は長野県南牧村を中心に広がる高原地帯で、夏場の冷涼な気候を最大限に活用した抑制栽培が行われています。特にレタスの生産量は全国的にも非常に多く、大規模な農業経営が展開されています。
問11	答え 3 プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問12	答え 3 水力発電	「水力発電」は、ダムや落差を利用して水の勢いでタービンを回します。二酸化炭素を排出せず、需要に応じて即座に出力を調整できるため、電力の安定供給において重要な役割を果たしています。古くからあるエネルギー源ですが、技術の進化によりさらなる効率化が進んでいます。
問13	答え 4 綿工業	阪神工業地帯の発展初期において、綿工業は中心的な役割を果たしました。安価な労働力と輸出に適した立地を活かし、大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど繊維産業で栄えました。
問14	答え 2 再生可能エネルギー	「再生可能エネルギー」は、太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなどが含まれます。これらは発電時に温室効果ガスをほとんど出さないため、地球環境に優しいエネルギーとして期待されています。
問15	答え 1 栽培漁業	栽培漁業は、人工孵化させた稚魚や稚貝を、ある程度大きくなるまで飼育し、その後海に放流する手法です。自然界で成長した個体を捕獲するため、天然に近い状態で水揚げできるのが特徴です。【概要】マダイやヒラメ、クルマエビなどで盛んに行われており、日本の水産資源の維持と安定供給に大きく貢献しています。